

小学4年生のお子さまへ

日本脳炎予防接種のお知らせ



日本脳炎第2期の標準的な接種年齢は9歳となっており、積極的勧奨の対象となっています。龍郷町では小学4年生を対象に案内を行っていますが、12歳まで受けることができます。

★日本脳炎予防接種スケジュール

※ 龍郷町へ転入する前にすでに接種済みの方は今回改めて接種する必要はありません。

既に接種した回数	接種回数（全4回）	接種間隔
全く受けていない方	残り4回 (1期3回、2期1回)	★6日から28日あけて2回接種し、その後概ね1年あけて3回目の接種。 ★4回目(2期)の接種は、9歳以上の方に対し、3回目の接種後6日以上あけて接種。
1回接種を受けた方	残り3回 (1期2回、2期1回)	★6日以上あけて2回目と3回目を接種。 ★4回目(2期)の接種は、9歳以上の方に対し、3回目の接種後6日以上あけて接種。
2回接種を受けた方	残り2回 (1期1回、2期1回)	★6日以上あけて3回目を接種します。 ★4回目(2期)の接種は、9歳以上の方に対し、3回目の接種後6日以上あけて接種。
3回接種を受けた方	残り1回 (2期1回)	★1期終了後6日以上あけて4回目(2期)の接種をします。ただし、9歳以上の方に限る。

★医療機関

※ワクチンの準備があるので必ず予約を入れてください。

竜郷中央クリニック (62-2525)	肥後医院 (62-3023)	肥後診療所 (62-4023)	みんなの診療所 (62-5010)
県立大島病院 (52-3611)	政小児科内科医院 (52-0017)	奄美中央病院 (52-6565)	ファミリークリニック ネリヤ (57-7177)
せきクリニック (55-0070)	むかいクリニック (55-1777)	かずや内科 (53-6020)	朝沼クリニック (55-1555)
つばたクリニック (57-7771)	よしかわクリニック (52-5300)	記念クリニック (55-2271)	笠利病院 (55-2222)

主な医療機関を掲載しています。
上記外の医療機関で接種される場合は、子ども子育て応援課へお問い合わせください。

★接種方法・費用

- ★持参するもの：母子健康手帳、予診票 ★接種料金：**無料**（接種期間内に限る）
★必ず**保護者同伴**で受診してください。

★予防接種の効果・副反応

☆**ワクチン接種により、日本脳炎の罹患リスクを75～95%減らすことができると報告されています。**

ただし、予防接種により軽い副反応や、極めて稀ですが重い副反応がおこることがあります。

最も多い副反応としては、発熱(接種者の3%程度)で接種後1日に多くみられます。接種部位の反応としては、腫れ、蕁麻疹、痛みなどがありますが、通常は3日後までに消失します。非常に稀ですがショックやアナフィラキシー(全身性のアレルギー反応)、急性散在性脳脊髄炎等の重症例の報告があります。



★予防接種前の注意事項について

接種を受けることができないお子さん	接種を受ける際に注意が必要なお子さん
①明らかに発熱(37.5℃以上)をしている場合	① 心臓病、腎臓病、肝臓病、血液の病気や発育障害などで、治療を受けているお子さん
②重篤な急性疾患にかかっていることが明らかな場合	② 予防接種で、接種後2日以内に発熱や、発疹・じんましんなどアレルギーと思われる異常がみられたお子さん
③その日に受ける予防接種の接種液に含まれる成分によってアナフィラキシーを起こしたことがあるお子さん	③ 過去にけいれん(ひきつけ)を起こしたことがあるお子さん
④その他、医師が不適当な状態と判断した場合	④ 過去に免疫不全の診断がなされているお子さん及び近親者に先天性免疫不全症の方がいるお子さん
	⑤ ワクチンにはその製造過程における培養に使う卵の成分、抗生物質、安定剤などが入っているものがあるので、これらにアレルギーがあるといわれたことのあるお子さん

★接種後の注意点

- ①予防接種を受けた後 30 分程度は、急な副反応が起こることがあります。医療機関で様子を見ましょう。
- ②接種後、1 週間程度は副反応の出現に注意しましょう。
- ③接種部位は清潔に保ちましょう。入浴は差し支えありませんが、接種部位をこするのはやめましょう。
- ④ 当日は、激しい運動は避けましょう。
- ⑤接種後、接種部位の異常な反応や体調の変化があった場合は、速やかに医師の診察を受けましょう。

★日本脳炎ってどんな病気？

日本脳炎ウイルスの感染で起こります。人から人への感染はなく、ブタなどの体内で増えたウイルスが蚊によって媒介され感染します。100～1,000 人の感染者に1人の割合で脳炎等を発症します。

○**主な症状**: 7～10日間の潜伏期間の後、高熱・頭痛・嘔吐などで発病し、引き続き、急激な光への過敏症・意識障害・神経系障害(脳の障害)を起こします。脳炎にかかった時の死亡率は約20～40%で、神経の後遺症を残す人も多くいます。

